

令和2年度(2020-2021)5月度 商工会理事委員会 議事録

日 時: 令和3年(2021年)5月19日(水) 13:00 ~13:50

開催形式: Zoom によるウェブ会議

出席者: 名誉会長、理事委員 19 名、正会員 3、オブザーバー1 名、事務局長

欠席者: 理事委員 2 名(うち会長委任 1 名、代理委任 1 名)

司 会: 酒井一宏 幹事

1. 商工会会長連絡 (相澤 稔 会長)

①コロナワクチン接種率は昨日段階で上昇率は低下、また州別ランキングでは 39 位と低迷が続くものの漸く 41.8%まで到達、また 12-15 歳への接種も許可され、更なるワクチン接種拡大が期待される。先週 CDC からワクチン接種者のマスクは不要との発表があり、昨日は漸く Harris 郡の Threat Level がレッドからオレンジに引き下げられた。5 つの指標のうち、唯一ターゲット未達となっていた検査陽性率も計算上 artificial になっているとして Threat Level の引き下げとなった。ワクチン未接種の方も残る中で引き続き慎重な対応が求められるが、オフィスの再開、国内中心の出張等再開の動きが出てきており、ビジネスの活性化が見えてきた。但し、日本人としては、日本の状況を考えると忸怩たるものがある。

②今月 7 日にハッカー集団によるコロニアル・パイプラインへのサイバー攻撃が行われ、それを受けて北東部向けの基幹石油製品パイプラインが操業を停止する事態となった。約 1 週間(13 日)でパイプラインシステムは再稼働したが、ガソリン平均価格が\$3/ガロンを超える(2014 年 10 月以来)などサプライチェーンで混乱が生じ影響は大きかった。身代金(\$5M)を払ったとの報道もあり、今後も同様犯行の懸念が残る。自らのシステムにおけるサイバーセキュリティの問題は引き続き課題として認識していく必要があるかと思う。

③寒波が来たのは昨日だったのではないかと思われるほどまだその余波が残っているが、毎年恒例のハリケーンシーズンが来た。一般的には 6 月からとなっているが、企業、個人の両方の立場で、会員の皆様は改めて対策の準備をお勧めする。ヒューストンという観点では、最近最も大きな被害があったのは 2017 年のハリケーン・ハービーであり、それから 4 年経過して大型ハリケーンの脅威を経験していない社員の方も増えているかと思う。改めて過去の経験も踏まえて注意喚起していただく事を推奨する。

④ウォーキングイベントが弊社社内でも大変盛り上がっている。日々の会話の種になると共に、歩く事に対する興味喚起に繋がっており、イベントの目的が既に達成されているのではないかと思っている。イベントの盛り上げに向けて、途中経過報告や賞品の拡充など、事務局、幹事の JERA 様の継続的な工夫に感謝したい。

2. 総領事館連絡 (福島秀夫 総領事)

①このたび発表された本年初頭の四半期経済データによれば、米国は 6%成長と際立った回復ぶりを示している。本年の世界の成長見通し 6%をまさに牽引している形であり、明らかにワクチン普及が景気回復を後押ししていることが顕著に表れている。また、普及が進まない日本がマイナス成長なのと対照的である。足元のテキサスでは、これまでに 16 歳以上の成人でワクチンを少なくとも一度受けた人の割合がついに半分を超えた。これは 7 割ほどと言われているいわゆる集団免疫の状態には届かないものの、かなりの安心材料となっている。但し、先月半ばくらいから新規ワクチン接種者のペースが急に鈍化しているのが気掛かりではあり、なんとかあともう少し伸びて欲しいものである。数字を見ると、テキサスでの新規感染者数は 2,250 人と昨年末の最盛期の十分の一、また感染率も 4.2%とこれまた四分の一以下に抑え込まれている。これもワクチン効果と思われ、裨益している在留邦人としても米政府の采配に感謝したい。

②こうした流れを受けて経済社会において注目されるのは、先週に CDC によって新たに発表されたマスク着用に係るガイドラインである。それによると、ワクチン接種済みの人は基本的にマスク着用義務が解除され、これからは屋内外や人数に関わらずマスク無しで人と会ったり社会活動ができるようになるとのことで、専門家の科学者が根拠を

もって提唱していることに注目したい。但し、例外として公共交通機関利用時や、空港や駅などがあげられているので、全くの手放しではない。またレストランや事務所、学校などもそれぞれの現場の状況に応じた裁量を続けているのが現状である。足元のハリス郡も警戒しつつ最大警戒レベルを一段落としたものの、しばらくは慎重かつ制御された規制緩和が求められているであろう。

③他方、日本の感染状況が最悪なのは報道などでご案内の通りだが、それを反映して日本帰国時の水際対策が4月19日付けで一段と厳しくなっていることを改めて注意喚起申し上げたい。当地で取得する必要があるコロナ陰性検査証明書が書類不備であるとされ、搭乗拒否、また最悪の場合は日本到着時に上陸拒否され引き返しを余儀なくされる悲劇の実例が何人か発生したという報告をANAやJALなど航空会社からは受けている。これについては、領事メールとともに総領事館のHPでも在留邦人の皆様方にお伝えしているが、この証明書は日本の厚生省が細かく指定した特定のフォーマットや専門用語でないと不備とみなされる場合があり、当地クリニックに注意深く作成してもらう必要がある。対応準備がある当地クリニック情報は商工会HPにも掲載されているので、なんらかの事情でご帰国を予定される方々は改めて同HPや厚生省のHP等を通じて最新の情報を入手し、上陸拒否などの最悪の事態に見舞われないよう、ぜひ周到な準備をお願いしたい。

3. 幹事報告（酒井一宏 幹事）

*広報委員長の交代について

松澤進一広報委員長(JOGMEC)の帰任に伴い、相澤会長の任命により稲田徳弘氏(同社)が6月より新広報委員長として就任することが本会議において承認された。

*会員企業対象のイベント参加に関するアンケート調査について

今月下旬に常任委員を対象に、商工会イベントやBack to Officeに関するアンケートを実施する予定である。9月頃のゴルフイベント開催につき各社の声を集めることが主の目的だが、この機会にピクニック等の他のイベント開催やBack to Officeへの取り組みについてもヒアリングし、その結果を参考に今後の定例イベントや代替イベントの開催につき検討していきたいと考えている。アンケートの結果は関係者の皆様に共有したいと考えているので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

4. 新規入会申請について（酒井一宏 幹事）【承認事項】

定款第二条第二項に従い、下記の準会員一名の入会申請を全会一致で承認した。

*準会員

申請者・責任者：亀田洋輔（かめだ ようすけ）氏

連絡先：Syscom Global Solutions Inc.

55 Broadway 11th/12th Floor, New York, NY 10006

TEL: 212-797-9131

Email: y-kameda@syscomgs.com

Web Site: <http://www.syscomgs.com>

入会希望月：2021年5月

5. テキサス州六者交流会関連報告（白岩良浩 副会長）

同交流会は、ダラス、オースティン、サンアントニオ、マッカーレン、エルパソ、そしてヒューストンに所在する六都市の日本商工会や日本人会の会員が一堂に会し親睦を深めることを趣旨とし、毎年六都市持ち回りで開催されている。前回は2019年にサンアントニオにて開催されたが、コロナ禍により2020年のエルパソでの開催は中止された。先日、ホスト側のエルパソ日本人会より連絡があり、今年11月の交流会開催についても安全に安心して実施できるまでには至っていないという判断のもと再度開催を見送ることが決定し、次回は2022年11月に開催されることとなった。これにより、エルパソ開催の次にホスト役をするヒューストンでの同交流会は、2023年11月に開催されることになる予定である。

6. 安全危機管理関連報告（東 克己 特命理事）

6月から11月までがハリケーンシーズンとなっているが、今週も豪雨や竜巻、洪水の注意報が出ていた通り、一年を通して常に悪天候については注視しご準備いただきたい。例年、ハリケーンシーズンが始まるにあたり、ガルフストリームでは総領事館と連携してハリケーン対策に関連する記事を掲載しており、今年もハリケーン・ハービーやハリケーン・アイクの体験記も踏まえて6月号の記事が掲載される予定である。また、商工会ホームページの安全危機管理情報ページには、ハリケ

ーンや大寒波、コロナ関連情報など様々な情報が集約されているので、ぜひご閲覧のうえお役立ていただきたい。

7. 他団体・日本庭園関連報告 (名川 譲 特命理事)

*日本庭園への寄付について

日本庭園の補修整備、日本からの庭師招聘費用として、例年、HPC (Hermann Park Conservancy) より日系3団体(日米協会、商工会、日本人会)へ寄付の要請がある。これを受けて、当会も寄付を実施し、ジャパンフェスティバル開催時には会長が贈呈式に参列している。コロナ以降は、5月のジャパンフェスティバルと2月の庭師の日本からの招聘が2年連続行われていない状況ではあるものの、当該管理団体はコロナウイルス感染禍と歴史的な寒波の中での庭園維持に努めていることから、9月末までに計上(例年)通りの\$6,000の寄付を実施する方向で進めることとする。

*春の日本庭園清掃ボランティアについて

去る5月8日、日米協会主催の日本コミュニティーボランティアによる日本庭園清掃を2年ぶりにハーマンパーク内日本庭園にて行った。CDCガイドラインに基づき、25人を上限として安全衛生に気をつけながら作業を実施した。総領事をはじめ、商工会から6-7社の会員企業の皆様にもご参加いただき、ご協力に感謝申し上げます。

*水際対策強化とANAの日本行きフライトの変更について

水際対策の強化にともない書類の不備等により日本行きのフライトに搭乗できないケースも出てきている状況下、皆様には最新の有効な出国前検査証明フォームを入手の上、検査担当医または検査機関担当者に正しく記入してもらい、持参されるようご注意ください。当地に於ける検査機関情報や7月1日以降のANA日本行き運行スケジュール等の変更については、商工会ホームページの「新型コロナウイルス関連情報」ページに掲載されているので、ご閲覧いただきたい。

8. 委員会・部会関連事項

スポーツ委員会

*バーチャル・ウォーキング大会開催進捗報告 (本郷 徹 副会長兼スポーツ委員長)

同大会の開催最終日がいよいよ5月31日午前10時に迫っており、現在35チーム、349名の皆様にご登録頂いて熱戦が繰り広げられている。同イベントについては、ガルフストリームやガルフ号外版、ホームページの特設ページにて紹介されているので、ぜひご閲覧いただきたい。参加費\$1,700に対し、協賛企業と商工会より\$5,600相当の充実した賞品が準備されている。協賛企業12社からは、\$2,520の賞品をご提供いただき、感謝申し上げます。参加企業や関係者の皆様には、引き続きご支援をお願い申し上げます。

9. 事務局関連事項 (小林浩子 事務局長)

*会員消息

2021年5月16日現在、名誉会員10名、正個人会員数689名、(正団体会員数111社)、準会員数47名で、総会員数は746名となっている。

以上。